

国土交通経済 (平成 13年 10・11月分) の概況

【公共工事受注 (11月)】

～総じて低調に推移。

工事受注額は前年同月比 18.0%減少(3ヶ月連続、4-11 月累計では前期比 6.9%減少)。大手 50 社受注額は同 26.4%減少(3ヶ月連続、4-11 月累計では前年比 12.2%減少)

【住宅建設 (11月)】

～おおむね横ばい。

新設住宅着工戸数は 105,743 戸 (原数値) で、前年同月比 1.2%減少(3ヶ月連続、4-11 月累計では前年比 3.0%減少)。季節調整済み年率換算値は 123 万 8 千戸で、前月比 8.0%増加(4ヶ月ぶり)。

【民間非住宅建設 (11月)】

～減少している。

民間設備投資の先行指標である民間非居住建築着工床面積は、店舗は増加、事務所・工場・倉庫は減少し、全体で前年同月比 1.1%減少(2ヶ月ぶり、4-11 月累計では 11.9%減少)。

【貨物交通 (10・11月)】

(1) 国内輸送

～トラック、航空、鉄道、いずれも減少している。

トラック(特積)は、10月前年同月比7.6%減少(10ヶ月連続)、トラック(一般)は10月同4.0%減少(9ヶ月連続)。航空(速報: 3社)は、11月同17.0%減少(10ヶ月連続)。鉄道は11月同3.9%減少(4ヶ月連続)となった。

(2) 国際輸送

～航空が輸出入とも減少している。

外国航空会社を含む航空貨物量(速報: 成田・関空調べ)は、輸出11月前年同月比24.5%減少(12ヶ月連続)。輸入も11月同8.6%の減少となった(6ヶ月連続)。なお、我が国航空会社の輸送量(速報: 輸出+輸入)は、11月同8.3%減少(14ヶ月連続)となった。

【旅客交通 (10・11月)】

～鉄道は概ね横ばい。航空は米国同時多発テロ事件等の影響により国際が大幅な減少となり、国内も減少。

鉄道は、JR 6社が10月前年同月比0.3%減少(3ヶ月連続)する一方、民鉄は、10月同1.1%の増加となった(6ヶ月連続)。

米国同時多発テロ事件等の影響により国際航空(邦社)が11月同38.8%の大幅な減少(3ヶ月連続)となり、国内航空(速報: 18社)も11月(速報: 9社)同3.7%の減少(2ヶ月連続)となった。

観光(11月)

~米国同時テロ事件等の影響により海外旅行が大幅に減少、国内旅行も減少。

米国同時多発テロ事件等の影響により、海外旅行は取扱額(主要50社)が11月52.1%の大幅な減少(3ヶ月連続)となった。出国日本人数は11月同41.9%の大幅な減少(3ヶ月連続)となり、入国外国人数も、11月同7.1%の減少(3ヶ月連続)となった。国内旅行は、取扱額(主要50社)がテロの影響による沖縄への入域観光客減少等に伴い11月同2.4%の減少(2ヶ月連続)となった。